

「少女に与えられたのは、大きな銃と小さな幸せ。」



相田 裕「GUNSLINGER GIRL」

“改造”と“再生”の10年展

2013年10月11日(金)～2014年1月26日(日)

明治大学 米沢嘉博記念図書館1階展示コーナー **入場無料**

開館時間■月・金／14:00～20:00 土・日・祝／12:00～18:00

休館日■火・水・木曜(ただし祝日の場合は開館)11月1日、12月27日～1月5日、1月17日

※特別整理などで休館する場合があります。詳細は当館ウェブサイト、または開館日に電話にてご確認ください。

主催■明治大学 米沢嘉博記念図書館

〒101-8301 東京都千代田区猿樂町1-7-1 Tel. 03-3296-4554

http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/

©相田裕 協力株式会社KADOKAWA



明治大学





展示概要

相田裕の『GUNSLINGER GIRL』は、2002年「少女に与えられたのは大きな銃と小さな幸せ」という印象的なコピーから始まり、政府の公安組織と反政府組織の熾烈な戦いを描いて、2012年に幕を閉じた。物語の舞台は架空のイタリアである。

改造され戦いに身を投じる少女たちと、彼女たちを指導する大人の二人組「フラテッロ」に、最終的に与えられた幸せとは何か。

本展では、完結まで10年にわたる作者の営為と創意に「改造」と「再生」という視点から迫り、『GUNSLINGER GIRL』の果たした大きな意義を提示する。

相田 裕 あいだゆう 略歴

1977年栃木県生まれ。明治大学卒業、同学漫画研究会出身。1998年、同人誌で『GUNSLINGER GIRL』の原案となる作品を発表。PCゲーム『BITTERSWEET FOOLS』の原画などを経て、『コミック電撃大王』にて2002年から『GUNSLINGER GIRL』の連載を開始。2012年完結。平成24年第16回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞。2009年より、同人誌で『バーサス・アンダースロー』シリーズを発表。同作は2010年に第14回メディア芸術祭マンガ部門審査員推薦作品に入選。同人誌時代から作画をデジタル化しており、登場の経緯、ホームページやツイッターでの活動なども含め、新しい時代の作家である。『GUNSLINGER GIRL』の成功によって、2000年代を代表するマンガ家の一人となる。

GUNSLINGER GIRL本編原稿(デジタル原稿)



著者の同人誌



関連フィギュア



作画参考用モデルガン



作中の衣装のモデルとなった洋服

■本展会場地図



■関連トークイベント

1 「変わりゆく『GUNSLINGER GIRL』の描写を読む」

講師: 泉信行(マンガ研究者)
日時: 2013年10月19日(土) 16:00~17:30
場所: 米沢嘉博記念図書館 2階 閲覧室

2 ワークショップ「相田裕が教える実践マンガの描き方」

講師: 相田裕(マンガ家)、伊藤剛(東京工芸大学准教授)
日時: 2013年11月16日(土) 13:00~16:00
場所: 東京工芸大学 中野キャンパス

3 相田裕トークイベント

講師: 相田裕(マンガ家)、藤本由香里(明治大学准教授) ほか予定
日時: 2014年1月(予定)
場所: 明治大学 駿河台キャンパス

いずれも聴講無料です

※ただし①の会場となる当館閲覧室への入場には会員登録料金(1日会員300円~)が必要です。

②のワークショップは申し込み制です。申し込み方法は当館ホームページで9月上旬に告知します。

多数の申し込みがあった場合は、抽選とさせていただきます。

③の相田裕トークイベントについての詳細は、決定しだい当館ホームページで告知いたします。

①・③で会場が混み合う場合、入場をお断りすることがあります。ご了承ください。